

# エコアクション21 環境活動レポート

(運用期間 平成27年10月1日～平成28年9月30日)



株式会社 神奈川ウッドエネルギーセンター  
平成28年11月14日

# 環 境 方 針

当社は、循環型資源社会の形成、構築を最重点課題として認識し、自ら積極的に環境に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。

受託した産業廃棄物の中間処理のためにガソリン・軽油・電力などのエネルギーを消費しています。これらの事業活動に伴う環境負荷を削減するため、下記の環境への取組を行います。

- ① 二酸化炭素(CO2)排出量を削減します。
  - ・重機等の効率的な運転。
  - ・作業効率の向上。(機器の定期点検、工場内の整理整頓)
  - ・工場内の電気使用の見直し、中間処理工程での省エネルギーへの取り組み。
- ② 上水使用量の削減をします。
- ③ 環境マネジメントシステムの継続的改善、及び実施に取り組みます。
- ④ 当社より排出する廃棄物を削減します。
  - ・事務用品等のグリーン購入の推進。
  - ・紙の裏面使用。
  - ・使い捨て容器等の廃止。
- ⑤ 環境関連法規及び当社が同意した協定を遵守します。
- ⑥ 環境活動レポートを公表する等、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
- ⑦ 環境教育を実施し全従業員に環境方針の周知を徹底します。
- ⑧ 受託した廃棄物のリサイクル率の向上に取り組みます。

以上の事に積極的に取り組みます。

平成20年11月8日

株式会社 神奈川ウッドエネルギーセンター  
代表取締役 武松 ひで

# 1.株式会社神奈川ウッドエネルギーセンター概要

商号 株式会社 神奈川ウッドエネルギーセンター

設立 昭和59年9月12日

代表者 代表取締役 武松 ひで

所在地

本社・本社工場 〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦1-15-43

TEL 045-773-3535

FAX 045-775-2101

資本金 16,000千円

環境管理責任者 担当者 環境管理責任者 沼澤 洋  
事務部門担当 石田 秀隆

連絡先 TEL 045-773-3535  
FAX 045-775-2101

## 事業活動

- ①産業廃棄物処分業
- ②産業廃棄物収集運搬業
- ③一般廃棄物処分業
- ④第一種フロン類回収業

## 事業活動の内容

- ①産業廃棄物処分業（中間処分業）

事業の区分：破碎・圧縮

許可政令市：横浜市

許可番号 第05620037642号

許可の有効期限：平成33年2月28日

処理能力：木くずの破碎施設 1基（200.48 t/日）

：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず破碎施設 1基（108 t/日）

：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくずの破碎施設 1基（19.53 t/日）

：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくずの圧縮梱包施設 1基（442.71 t/日）

：金属くず（鉄くず）の圧縮施設 1基（32 t/日）

：金属くず（非鉄金属くず）の圧縮施設 1基（12 t/日）



## ②産業廃棄物収集運搬業

許可都道府県：神奈川県 許可番号 01401037642 有効期限 平成30年6月30日  
：東京都 許可番号 第13-00-037642号 有効期限 平成30年2月24日  
：千葉県 許可番号 第01200037642号 有効期限 平成30年3月31日

## ③一般廃棄物処分業

許可政令市：横浜市 許可番号 第1135号 有効期限 平成29年3月31日  
取り扱い廃棄物の種類：一般廃棄物（木くず）、以上1種類

## ④第一種フロン類回収業

許可都道府県：神奈川県 登録番号 神(気水) 第1-1761号  
登録年月日 平成25年12月17日  
有効期間満了年月日 平成30年12月16日

保管量 ①産業廃棄物 2,257m<sup>3</sup> 高さ 2m  
②一般廃棄物（木くず） 87.1m<sup>3</sup>

売上高 95,509万円（2015年度）

処理量 55,404 t

従業員数 29名

敷地面積 5,221m<sup>2</sup>

用途地域 工業地域

保有車輛等 ①運搬車両

- ・アームロール車 2台
- ・製品チップ運搬車両 2台

②営業車両

- ・乗用車 1台

③作業用重機等

- ・油圧ショベル 6台
- ・ショベルローダー 3台
- ・フォークリフト 4台

廃棄物処理料金 処分単価は、廃棄物の種類、処理方法、荷姿(単品・混載)によって決めています。



## 2.許可証一覧

### ①産業廃棄物

(処分業：中間処理)

自治体名	更新年月日	許可有効期限	許可番号	事業の範囲
横浜市	平成23年3月1日	平成28年2月29日	第05620037642号	破碎・圧縮

(収集運搬業)

自治体名	更新年月日	許可有効期限	許可番号	事業の範囲
神奈川県	平成25年7月5日	平成30年6月30日	01401037642	収集・運搬 (積替え・保管を除く)
東京都	平成25年2月25日	平成30年2月24日	第13-00-037642号	収集・運搬 (積替え・保管を除く)
千葉県	平成25年4月1日	平成30年3月31日	第01200037642号	収集・運搬 (積替え・保管を除く)

### ②一般廃棄物（一般廃棄物処分業）

自治体名	更新年月日	許可有効期限	許可番号	取り扱い廃棄物
横浜市	平成27年4月1日	平成29年3月31日	第1135号	(木くず) 1種類

### ③廃棄物再生事業者登録

自治体名	登録年月日	有効期限	登録番号	事業の内容
神奈川県	平成14年10月28日	平成30年3月28日	第G00169号	古紙の再生 金属くずの再生 木くずの再生 廃プラスチック類の再生

### ④建設発生木材等再生資源化指定事業者登録

自治体名	登録年月日	有効期限	登録番号	受入基準の概要
神奈川県	平成27年4月1日	平成29年3月31日	第6号	解体木くず 伐木材 伐根材
川崎市	平成28年4月1日	平成30年3月31日	25川建技第811号	解体木くず 伐木材 伐根材

### ⑤第一種フロン回収業者

自治体名	登録年月日	有効期間満了年月日	登録番号
神奈川県	平成25年12月17日	平成30年12月16日	神(気水) 第1-1761号

(産業廃棄物中間処理 取り扱い品目)

	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	磁器くず	ガラス・コンクリート・陶	鋳さい	がれき類	家畜のふん尿	家畜の死体	ばいじん	十三号廃棄物	動物系固形不要物	
横浜市						●	●	●	●		●	●	●									

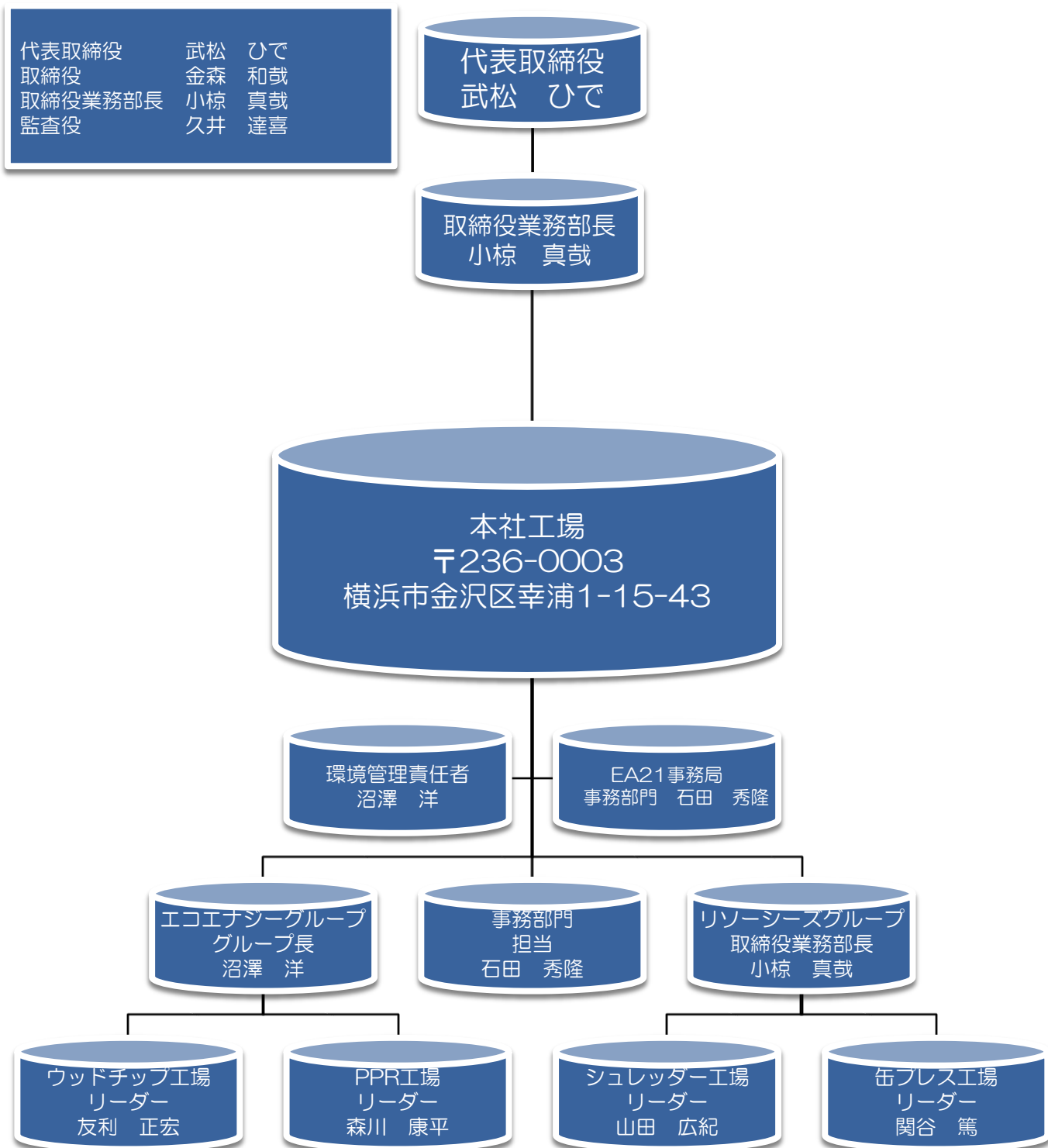
(産業廃棄物収集運搬 取り扱い品目)

	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	磁器くず	ガラス・コンクリート・陶	鋳さい	がれき類	家畜のふん尿	家畜の死体	ばいじん	十三号廃棄物	動物系固形不要物	
神奈川県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●						
東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●						
千葉県						●	●	●				●	●									

(一般廃棄物処分業 取り扱い品目)

	木くず
横浜市	●

### 3. (株)神奈川ウッドエネルギーセンター 実施体制組織図 (平成28年11月現在)



## 4.環境関連法規への違反訴訟等の有無

①関連する法律、条令等を環境管理責任者らによってチェックしたところ  
違反は有りません。

②当局からの違反の指摘もありません。

③外部・近隣からの苦情もありません。

④過去3年間違反及び訴訟等はありません。

チェック実施日2016年10月1日

環境関連法規一覧		環境関連法規への違反	訴訟等の有無
1	横浜市条例	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
2	神奈川県条例	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
3	廃棄物処理法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
4	騒音規制法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
5	振動規制法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
6	家電リサイクル法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
7	悪臭防止法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
8	消防法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
9	労働安全衛生法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
10	フロン排出抑制法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
11	自動車NOX・PM法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。
12	PRTR法	違反等は、ありません。	訴訟等は、ありません。



## 5.環境目標と実績

	目標・実績	基準年度 2006年度	年度目標 2015年度	年度目標 2016年度	年度目標 2017年度	年度目標 2018年度
CO <sub>2</sub> の排出量の削減	◎二酸化炭素排出量削減 【kg-CO <sub>2</sub> /t】 (購入電力排出係数) 0.531 (kg-CO <sub>2</sub> /KWh) で計算。 [ ]は総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	37.57 基準年変更 2006年度 ↓ 2014年度 採用 21.8	目標 21.6 実績 22.2× [1,232,308]	目標 21.4	目標 21.1	目標 20.9
	【電力使用量の削減】 (年1%の削減) 1.購入電力量の削減 【KWh/t】 [ ]は総量 (kwh)	48.58 基準年変更 2006年度 ↓ 2011年度 20.13	目標 19.33 実績 18.64◎ [1,032,730]	目標 19.13	目標 18.93	目標 18.73
	【化石燃料使用量の削減】 (年1%の削減) 1.化石燃料購入量の削減 【L/t】 [ ]は総量 (L)	7.49	目標 6.84 実績 4.71◎ [260,841]	目標 6.77	目標 6.70	目標 6.63
水の使用量の削減	【水資源の使用量の効率化】 (年1%の効率化) 1.上水使用量の効率化 【t/m <sup>3</sup> 】 基準年度の変更2006年度から 2014年度【t/m <sup>3</sup> 】に変更 [ ]は総量 (m <sup>3</sup> )	6,156 基準年変更 2006年度 ↓ 2014年度 7.61	目標 7.68 実績 7.51× [7,377]	目標 7.75	目標 7.82	目標 7.89
廃棄物の削減	【紙使用の量削減】 (年2%の削減) 1.紙購入量の削減 【kg】	274 基準年変更 2006年度 ↓ 2009年度	目標 242.7 実績 140◎	目標 237.8	目標 233.1	目標 228.4
	【事業所内一般廃棄物の削減】 (年2%の削減)【kg】 2008年度を基準とする	329	目標 304 実績 272◎	目標 298	目標 292	目標 286
化学物質	【フロン回収量の把握】 1.マニュアル作成 2.回収量の把握【kg】	—	1.実施 2.実績 196	1.実施	1.実施	1.実施

	目標・実績	基準年度 2006年度	年度目標 2015年度	年度目標 2016年度	年度目標 2017年度	年度目標 2018年度
受託した廃棄物	【廃棄物最終処分量の削減】 (年1%の向上) 1.廃棄物のリサイクル率の 向上 【%】	80%	目標 89 実績 92◎	目標 90	目標 91	目標 92
社会貢献・環境配慮	【地域社会との コミュニケーション】 1.工場周辺の清掃	基準年度 2011年度	実施 雨天時以外 毎朝実施	実施 雨天時以外 毎朝実施	実施 雨天時以外 毎朝実施	実施 雨天時以外 毎朝実施
	【緊急事態、事故発生時の 対応マニュアル作成】 1.マニュアルの作成 2.訓練の実施	基準年度 2011年度	2.実施 平成27年 10月29日 10月31日 11月6日 12月1日 平成28年 3月28日 4月12日 4月27日 4月29日 6月3日 6月4日 6月18日 8月29日 8月30日 8月31日	2.実施	2.実施	2.実施
	【環境配慮】 (年1%の向上) 1.グリーン購入の推進 (事務用品) 【%】 2011年度より実施	基準年度 2011年度 83	目標 87 実績 88◎	目標 88	目標 89	目標 90
教育	【環境関連法規、条例】 1.EA21の活動内容 2.廃棄物関係法令	基準年度 2011年度	1.実施 月例ミー ティングに て毎月実施 2.実施	1.実施 月例ミー ティングに て毎月実施 2.実施	1.実施 月例ミー ティングに て毎月実施 2.実施	1.実施 月例ミー ティングに て毎月実施 2.実施

6. 株式会社神奈川ウッドエネルギーセンター  
廃棄物処理・リサイクルフロー図

排出事業者

収集運搬業者

株式会社神奈川ウッドエネルギーセンター

木くず

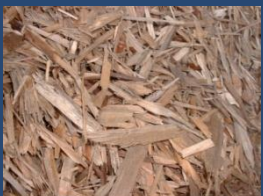


【破砕】

【燃料チップ】



【ボード用チップ】



【細粒チップ】



廃プラスチック



【破砕・圧縮】

【フラフ燃料】



【廃プラスチック原料】



【再資源化】

金属くず



【破砕・選別】

【製鉄原料】



【非鉄原料】



【埋め立て処分】  
【再資源化】

飲料容器



【圧縮】

【製鉄原料】



【非鉄原料】



【造粒砂】



## 7.環境への負荷チェック状況

環境への負荷		単位	(2013年10月~2016年9月30日)			
			2013年度	2014年度	2015年度	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	1,200,032	1,189,324	1,232,308	
託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	0	0	0	
	中間処理量	t	50,964	54,539	55,404	
	うち再資源化等量	t	50,964	54,539	55,404	
	最終処分量	t	0.0	0.0	0.0	
	中間処理後の産廃処分量	t	50,964	54,539	55,404	
	うち再資源化等量	t	47,434	50,047	51,120	
③廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	kg	1,191	1,189	1,099
		焼却・中間処理量	kg	306	302	272
		最終処分量	kg	0	0	0
	産業廃棄物	再資源化量	t	47,434	50,047	51,120
		焼却・中間処理量	t	0	0	0
		最終処分量	t	3,530	4,492	4,284
④-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	0	0	0	
	下水道	m <sup>3</sup>	6,128	7,168	7,377	
④-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	6,128	7,168	7,377	
	工業用水	m <sup>3</sup>	0	0	0	
	地下水	m <sup>3</sup>	0	0	0	
⑤化学物質使用量	フロン回収量	kg	175	78	196	
⑥エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）	MJ	9,686,561	10,090,996	10,151,736	
	化石燃料	MJ	9,868,297	9,394,050	9,966,869	
	新エネルギー	MJ	0	0	0	
	その他	MJ	0	0	0	
⑦資源等使用量	資源使用量	t	0	0	0	
	循環資源使用量	t	0	0	0	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	0	0	
	水の利用量	m <sup>3</sup>	0	0	0	

## 8.主要な環境活動計画の内容

### 1.購入電力量の削減

- ①休憩時間・終業時の消灯の実施
- ②休憩室・事務所内の空調設定（夏季25℃、冬季22度）
- ③工場機械設備の効率化（工場電力使用量の管理、メンテナンスの定期実施）

### 2.化石燃料使用量の削減

- ①重機・車両等の不使用時のアイドリングストップ

### 3.水使用量の削減

- ①工場内の散水の節水
- ②使用量の定期チェック
- ③水の流しっぱなしをしない
- ④漏水の定期チェック

### 4.紙購入量の削減

- ①縮小コピーの実施
- ②両面コピー印刷の実施
- ③システムによるペーパーレス化
- ④電子メールの活用

### 5.事業所内からの一般廃棄物の削減

- ①分別BOXの設置
- ②排出量の把握
- ③リサイクルの推進

### 6.廃棄物のリサイクル率の向上

- ①選別の徹底
- ②リサイクル先の開拓
- ③作業方法の見直し

### 7.その他の取り組み

- ①工場周辺の清掃（雨天時以外毎朝）
- ②グリーン購入の推進（事務用品等）
- ③環境に関連した教育の実施

## 9.受託した産業廃棄物（一般廃棄物【木くず】）の処理量

(処理量 t)

処理方法等		廃棄物等種類	処分の方法等	2013年度	2014年度	2015年度	
収集運搬							
収集運搬量合計							
中間処理		木くず	【破碎】	27,968	30,264	30,067	
		木くず (一般廃棄物)	【破碎】	925	878	880	
		廃プラスチック類	【破碎】 【圧縮】 【選別】	13,857	14,949	16,247	
		紙くず	【破碎】 【圧縮】	73	67	72	
		金属くず	【破碎】 【圧縮】 【選別】	6,478	6,757	6,577	
		ガラスくず	【破碎】	1,663	1,624	1,561	
中間処理合計				50,964	54,539	55,404	
産業廃棄物	中間処理後の産業廃棄物	再資源化等	木くず	ボード原料 燃料化 【売却】	28,893	31,142	30,947
			廃プラスチック類	原材料化 【売却】	1,122	1,201	1,236
			紙くず	固化燃料化 原材料化 【売却】	73	67	72
			金属くず	原材料化 【売却】	6,478	6,757	6,577
			ガラスくず	再生利用 【委託】	1,416	1,288	1,279
			廃プラスチック類	再生利用 【委託】	9,452	9,592	11,009
			再資源化等小計			47,434	50,047
	最終処分		廃プラスチック類 ガラスくず	最終処分埋立 【委託】	3,530	4,492	4,284
			最終処分量小計		3,530	4,492	4,284
	再資源化率				93%	92%	92%

# 10.代表者による見直しと環境活動計画の取組結果

承認	作成
2016年11月3日	2016年11月3日
武松	沼澤

目 標		代表者による見直し及び指示
CO <sub>2</sub> の排出量の削減	◎二酸化炭素排出量削減 【電力使用量の削減】 (年1%の削減) 1.購入電力量の削減	廃棄物処理量当たりの二酸化炭素排出量は、年間目標達成に至らなかったが、購入電力量は年間目標達成を達成できた。次年度も電力購入量の削減に努め、二酸化炭素排出量削減目標を達成できるよう努める。
	【化石燃料使用量の削減】 (年1%の削減) 1.化石燃料購入量の削減	月間・年間を通し目標達成することが出来た。こまめなアイドルングストップや自社運搬の距離効率化による効果が表れた。また積極的に外注運搬を活用する効果が表れた。
	【水資源の使用量の削減】 (年1%の削減) 1.上水使用量の削減	環境目標の見直しを行ったが、目標達成に至らなかった。原因として粉塵対策や、火災予防による終業時の散水が考えられる。また、粉じん対策（労働環境及び周辺飛散防止）をより強化する為、散水設備の増設など行った結果目標達成には至らなかった。次年度は、日量の使用量を作業日報によりチェックし、過大な使用量の低減を図っていく。
廃棄物の削減	【紙使用量の削減】 (年2%の削減) 1.紙購入量の削減	目標達成はできた。社内ネットワークの積極的活用により、文書・記録等の電子化がよりが進み、ペーパーレス化を推進できた。
	【事業所内一般廃棄物の削減】 (年2%の削減)	分別再利用推進により目標達成できた。次年度も、従業員周知を徹底し目標達成に努める。
受託した産業廃棄物	【廃棄物最終処分量の削減】 (年1%の向上) 1.廃棄物のリサイクル率の向上	年間目標は達成できたが、搬出先の搬入制限などがあり、リサイクル率の低下を招いた。最終処分量の削減を図る為、新規搬出先を引き続き開拓し、リサイクル率の向上を目指していく。
社会貢献・環境配慮	【地域社会とのコミュニケーション】 1.工場周辺の清掃	次年度も工場周辺清掃活動を継続的に行い、周辺美化活動を実施していく。
	【緊急事態、事故発生時の対応マニュアル作成】 1.マニュアルの作成 2.訓練の実施	訓練・講習会の定期的継続を行えた。また、次年度も緊急事態に対応するべく訓練・講習会等を計画実施し、継続して行っていく。
	【環境配慮】 1.グリーン購入の推進 (事務用品)	グリーン購入の推進を積極的に行い、目標達成ができた。次年度も、グリーン購入の推進を継続していく。
教育	【環境関連法規、条例】 1.EA21の活動内容 2.廃棄物関係法令	ミーティングにおいてEA21の活動内容を周知し、また結果についても周知ができた。次年度も継続的に行う。